

# 学校だより

NO.20

2024（令和6）年9月27日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

## 全国学力・学習状況調査の結果より②

### ○ 学習状況調査（児童質問紙）結果

6年生の子どもたちへ生活習慣や学習環境等に関するの質問紙調査も行われました。

【国・県と比べて肯定回答の割合が高い質問：強み（○） 低い質問：弱み（▲）】（主なもの）

#### 『生活や自分自身について』

- 毎日、朝食を食べている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ▲将来の夢や目標をもっている。
- ▲学校に行くのが楽しいと思う。

#### 『学習について』

- 算数、英語の勉強は大切だと思う。国語や算数、英語の授業の内容はよくわかる。
- 国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 今回の国語の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- ▲国語、算数の勉強が好き。
- ▲5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。

#### 『学級について』

- 授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- 学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。

調査から、6年生の子どもたち一人ひとりが前向きに取り組めていること、友だちと協力し合っていること、保護者の方々から子どもたちの基本的な生活習慣の定着に日々心を配ってくださっていることがうかがえました。また、将来の夢や目標をもつこと、自分の考えや意見を分かりやすく伝えること等に課題があることがわかりました。学習を大切だと考えているが、「好きですか」の問いへの肯定的解答が少ないことも課題です。

家庭学習についての質問から次のようなことがわかってきました。

質問	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）					
	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
西柘植小	0.0	11.1	44.4	44.4	0.0	0.0
全国（公立）	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3

普段（月曜日から金曜日）に「学年×10分」を守って、学習を続けている人が約半数であることがわかります。毎日の継続した学習により理解が深まるよう指導を行います。

## みんなちがうからすてき げんきいっぱい えがおいっぱい

テレビゲーム、携帯電話やスマートフォンに関わって、次のようなこともわかってきました。

質問	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。					
選択肢	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
西柘植小	11.1	0.0	22.2	55.6	11.1	0.0
全国（公立）	17.7	12.6	18.9	25.1	17.7	8.0

質問	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）						
選択肢	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	携帯電話やスマートフォンを持っていない
西柘植小	11.1	11.1	11.1	44.4	0.0	0.0	22.2
全国（公立）	11.9	8.8	13.1	17.3	13.3	14.6	21.1

テレビゲームやスマートフォン等の使用時間が長く、家での生活の大部分が使用時間になっている子どももいます。このことは、1学期に行った「児童・保護者アンケート」の「時間を守ってゲームやスマホを使っていますか」の問いへの肯定的解答が少なかったこととも重なるように思います。子どもたちと考え合っていくのはもちろん、今後も保護者の皆さんと連携してすすめていきたいと思えます。

## ○ 調査結果をふまえて

学力調査の結果をふまえて、学校では次のような取組を進めます。

- ・国語では、漢字の単独の読み書きだけでなく、文章の中で繰り返し読んだり、漢字を使って文章を書いたりする学習を継続して行います。読む指導の際は、「何が書かれているのか」を読み取るだけでなく、「どのように書かれているのか(描写)」にも着目して指導を行い、自分の考えを明確に表せるよう表現力を養います。個別で考える時間と集団で考え合う時間設定を行い、自分の考えをしっかりとめるようにします。「○字以内でまとめる。」「この言葉を入れて答えを書く。」といった条件に合った文章を書く機会を増やし、問われていることに適切に答えられるようにします。何より文章を読むのが楽しいと思える授業づくりに取り組みます。
- ・算数では、日常の場面とつなげて考える中で、答えが適切であるか判断できるようにします。問題文をよく読み、何を問われているのかを捉えられるよう、国語同様、個別に考える時間と集団で考え合う時間設定を行い、自分の考えを深められるようにします。条件に合った解答をする力をつけるため、考えや思いを書く機会や話し合う場を、授業の中で増やします。
- ・学級の中では、自分の思っていることや感じていることを話すことができるよう、自分の暮らしを綴る、交流し合うといったことも含め互いの考えや思いを伝え合うなかま作りの取組をさらに進めます。

## お願い

学校では、この結果をもとに1年生から5年生についても、強みを伸ばし、弱みについては日々の学習の中で確かめ、今後の授業改善に生かし、『よくわかると実感できる授業』をめざして取り組みます。しかし、学力の定着には家庭との連携が不可欠です。家庭学習の充実、家庭における読書もすすめていきます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。